

4642

勅諭第五八號

編成命令

韓國駐劄軍司令部ノ編成改正ヲ令セラレ  
右通報ス

明治三十七年九月七日午前十時

陸軍大臣 寺内正毅

外務大臣 男爵 小村壽太郎

陸軍省

佐藤

佐藤 筆 撮 版 用

MT

52232

02

5-0311

0525

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

系 (未届)

大臣

電信課長

*[Handwritten signature]*

次官

主管

*[Handwritten signature]*

電受第一三三號 明治廿九年九月廿一日 午後六時四分 發着

カ村外務大臣 外務省

中支ノ号

長谷川大將 陸軍部 閣下 申上 相事 可  
ル 旨 終 行 到 着 事 可

外務省

希望 文 行 廣 島 協 議 々  
乞 込 込 し

MT

52232

04

MT

52232

03

5-0311

0526

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

大正九年

明治 年 月 日  
起草 日 發遣

政務局長

生

電信課

Handwritten mark

電送第五二號  
主件  
明治九年八月五日  
十時發

杉原

大正

第三〇一號

貴電六ハロ為ニ聞

長官の大得難ハ影響アリ

外務省

司局長ニ送致ハ義ハ内容ニ依

リテ所ナシハハ大等一日ハ知リ

ニテ更ニ知リニハ力及ニ送ハ

以テ大正九年八月五日

MT

52232

06

MT

52232

05

5-0311

0527

明治三十七年九月二十四日

第五六號

通報

陸軍省

山内

長谷川大將落合少將、明二十五日午前九時  
三十分新橋停車場に歸著、報アリ  
明治三十七年九月二十四日

大本營陸軍副官部

大本營  
陸軍副官部

青田 啓

52232

07

大本營 參通第九二〇號第一

明治三十七年九月廿八日

參謀總長 侯爵 山縣有朋

外務大臣 侯爵 小村 啓

參謀總長

別紙ノ通 韓國駐劄軍司令官ノ訓  
令相成候ニ付及通報候也

大本營

MT

52232

08

5-0311

0528

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

訓令

- 一 韓國駐劄軍ヲ韓國ニ駐屯セシムルノ目的ハ同國ノ領土ヲ防衛シ其域内ニ於ケル秩序安寧ヲ維持シ帝國公館及居留民ヲ保護スルニ在リ
- 二 韓國駐劄軍司令部ハ京城ニ位置スヘシ
- 三 韓國駐劄軍司令官ハ其任務ヲ遂行スルニ於テ事ノ外交若ハ韓國施政ニ關スルモノハ總テ在京城帝國公使ト協議スヘシ

- 四 駐劄軍隊ノ配置ハ實際ノ情況ニ應スヘキモノナリト雖モ京城ニ常ニ成ルヘク多クノ軍隊ヲ駐劄セシムルヲ要ス

明治三十七年九月廿日

參謀總長奉

韓國駐劄軍司令官宛

MT

52232

10

MT

52232

09



上

信分一の八號

拜啓陳者山縣冬謀總長ヨリ、上  
奏天ニ依リ韓國皇帝陛下ハ御親  
書別紙ノ通り被差遣候間左  
候也

明治廿七年十月一日

宮内大臣子爵田中光顯

外務大臣男爵小村壽太郎殿

宮内省

MT

52232

11

5-0311

0530

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

謹ミテ韓國皇帝陛下ニ白ス朕特ニ陸軍大將  
 男爵長谷川好道ヲ簡ミ貴國駐劄軍司令官  
 ト爲シ京城ニ前往セシム好道ハ朕カ宿將ニシ  
 テ智謀勇略衆ニ絶ス今特ニ命シテ闕下ニ赴カ  
 シム所以ノモノハ貴國邊警未タ息マス人心  
 動モスレバ輒チ驚動ス萬一不測ノ變起ラハ  
 其累殿陛下ノ上ニ及ハンコトヲ慮レハナリ願クハ陛  
 下好道ヲ信スルコト厚ク軍國ノ事之レニ諮詢  
 シ若シ入奏ヲ請フアラバ直ニ之ヲ帷幄ニ延キ  
 其進言ヲ聽容セラレンコトヲ是レ朕カ最モ冀望  
 スル所此機ニ付シ朕カ恭敬友愛ノ意ヲ致シ  
 併セテ陛下ノ康寧福祉ヲ祈ル

宮内省

明治三十七年十月二日

東京官城ニ於テ

御名

MT

52232

13

MT

52232

12

秘 號 776 第 2 受 密

明治三十七年十月五日  
陸軍省 政務局

大本 司 監 第 二 〇 一 〇 號 第 二

明治三十七年十月五日

參謀總長 侯爵 山縣 有朋

外務大臣 男爵 小村 壽太郎 殿



長谷川大將 韓國、赴任、付別紙寫、  
御親書、韓國皇帝陛下、御贈進、  
相成候間及御通知候也

大本 營

MT

52232

14

5-0311

0532

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/



謹ミテ韓國皇帝陛下ニ白ス朕特ニ陸軍  
 大将男爵長谷川好道ヲ簡ニ貴國駐劄  
 軍司令官ト爲シ京城ニ前往セシム好道ハ  
 朕カ宿將ニシテ智謀勇略衆ニ絶ス今特ニ  
 命シテ闕下ニ赴カシム所以ノモノハ貴國邊警  
 未タ息マズ人心動モスレバ輒チ驚動ス萬一不  
 測ノ變起ラハ其累殿陛下上ニ及ハンコトヲ慮  
 レハナリ願クハ陛下好道ヲ信スルコト厚ク軍國ノ  
 事之レニ諮詢シ若シ入奏ヲ請フアラバ直ニ之  
 ヲ帷幄ニ延キ其進言ヲ聽容セラレンコトヲ是レ  
 朕カ最モ冀望スル所此機ニ付シ朕カ恭敬  
 友愛ノ意ヲ致シ保セテ陛下ノ康寧福祉  
 ヲ祈ル

大本營

明治三十七年十月二日

東京宮城ニ於テ

御名

MT 52232 16

MT 52232 15

長谷川大將

分送

第五七號

通報

長谷川大將、落合少將、明七日午後  
六時新橋發任地、赴カ

明治三十七年十月六日

大本營陸軍副官部

大本營  
陸軍副官部

政務局

決

④

MT

52232

17

5-0311

0534

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

ト

友

ト

明治 年 月 日 起  
同 卅 七 年 十 月 六 日 發 遣

主任

明治三十七年十月六日發遣

三十七年十月六日發遣

政務局長 宗

機密送第 / 號

立料 林公使 小村大臣

長谷川大將海軍大臣

外務省

長谷川大將海軍大臣 駐在東京  
官トシテ 海軍大臣 兼 海軍少將  
兼 海軍中將 別封甲種勳章  
同官トシテ 海軍大臣 兼 海軍少將  
兼 海軍中將 別封甲種勳章  
防備兼 秩序維持  
外交事務 海軍大臣 兼 海軍少將  
兼 海軍中將 別封甲種勳章

MT

52232

19

MT

52232

18

5-0311

0535

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

日外西各領土の領分  
 於て之を重事として其の事柄に  
 之國官卜物帳簿、上は指針を成  
 水標の事當日官に任じ置  
 天皇陛下より韓王陛下ニ對せし  
 し外、其の事柄、如く之を親辦被  
 事、是れ升ニ付、其の心持、是れ而して  
 及、清國送水あり

別件訓令及び親辦事案付下

外務省

MT

52232

20

5-0311

0536

生

35

電報  
大本營宛

駐副軍司令官

十月八日午後三時三十分着

24

林用希  
三不正規

咸鏡道ニハ由來露党ナルモノ多ク平時ニ在リテモ政府ノ命  
 令充分ニ行ハレガリシカ今ヤ同地ハ事實上文戦地域ニ屬シ  
 我台領地ニ在リテモ韓國官民ノ多クハ概テ逃亡シ地  
 方行政殆レド行ハレズ故ニ軍事上必要ニ依リ自今咸  
 鏡道内我台領区域ニ軍政ヲ施行シ守備隊長ヲ  
 シテ之ガ施行ニ任ゼシム但シ軍政ノ範圍ハ軍事行動  
 上ノ必要ナキ以上ナルベク地方一般ノ行政ニ立入ラサルヲ  
 程度トナセリ

本件ハ公使共協議済ナリ

大本營

MT

52232

21

5-0311

0537

電話第一〇號  
明治三十九年  
四月二日發

立料

抄之

小抄

第三一〇号

去月廿七日日出落

乘 招仁の、連統、若田左衛門

持事、以統簡及甲右衛門、似左

外務省

下等、改、部、送、(等)

MT

52232

23

MT

52232

22

5-0311

0538

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

伝不

大臣

電信課長

次官

主管

電受第一〇三二號  
明治三年十月十一日  
午後五時三十分  
發

桂外務大臣 檄 川上副総務

第五九号

長谷川大將志賀清九  
三在野中  
七村中  
書  
白へ出致せり

外務省

印

印

印

MT

52232

24

5-0311

0539

大臣

次官

電信課長

主管

電受第一七〇六號 明治三十四年十月三日 日午後六時三十分 發

小村外務大臣 加藤知事  
神三白号  
長谷川大将一少 奉旨午後一時  
了 著 港セニシ

外務省

MT

52232

25

5-0311

0540

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/



上紙陸軍元

大臣

次官

電信課長

主管

生

電受第一七三

號 明治廿年十月五日 午後六時四十分

着發

小村外務大臣

小村外務大臣

才七〇九号

長谷川大將、本日錦帯、福見、

祝東、指星、セ、本官、福見、

同件、

外務省

MT

52232

26

5-0311

0541

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/



# 官報

辛酉年八月一日(六九二七)

朕韓國駐劄軍司令部條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年七月三十一日

陸軍大臣 寺内正毅

勅令第二百五號

韓國駐劄軍司令部條例

第一條 韓國駐劄軍司令官ハ陸軍大將又ハ陸軍中將ヲ以テ之ニ親補シ

天皇ニ直隸シ韓國駐劄陸軍諸部隊ヲ統率シ韓國ノ防衛ニ任ス

第二條 軍司令官ハ軍政及人事ニ關シテハ陸軍大臣 作戰及動員計畫ニ關シ

テハ參謀總長 教育ニ關シテハ教育總監ノ區處ヲ受ク

第三條 軍司令官ハ韓國ノ安寧秩序ヲ保持スル爲統監ノ命令アルトキハ兵力

ヲ使用スルコトヲ得但シ緊急ナル場合ニ於テハ便宜之ヲ處置シ後統監ニ報

告スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ直ニ陸軍大臣及參謀總長ニ報告スヘシ

第四條 軍司令官ハ隨時部下軍隊及官衙ヲ檢閲シ毎年概ネ軍隊教育期ノ終ニ

於テ軍事一般ノ景況及意見ヲ奏上シ且陸軍大臣參謀總長及教育總監ニ報告

スヘシ

第五條 韓國駐劄軍司令部ハ左ノ各部ヨリ成ル

一 軍參謀部

二 軍副官部

三 軍參謀部及軍副官部ヲ合シテ幕僚トス

四 軍法官部

五 軍經理部

六 軍獸醫部

第六條 軍參謀長ハ軍司令官ヲ補佐シ機務ニ參畫シ命令ノ普及並實施ヲ監督

ス

第七條 軍參謀長ハ幕僚ノ事務ヲ監督シ事務整理ノ責任ニ任ス

第八條 幕僚ノ各將校及同相當官ハ軍參謀長ノ指揮ヲ受ケ各自分擔ノ事務ヲ

掌ル

第九條 軍法官部長ハ軍司令官ニ隸シ軍事司法ニ關スル業務ヲ掌ル

第十條 軍經理部長ハ軍司令官ニ隸シ駐劄諸部隊ノ會計經理ヲ監督シ陸軍土

地建造物ノ防ニ關スルニ係ル事項並經理部士官以下ノ人事及教育ヲ統轄

シ特ニ兵營其ノ他新設ノ臨時工事を掌ル但シ會計事務ノ監督及土地建造物

ノ經營事務ニ關シテハ陸軍大臣ニ直隸シ經理部士官以下ノ人事及教育ニ關

シテハ陸軍省經理局長ノ區處ヲ受ク

軍經理部長ハ師團經理部管轄外ノ部隊ニ係ル會計經理ヲ總轄ス但シ駐劄部

隊ノ位置ニ依リ師團經理部ヲシテ之ヲ管掌セシムルコトヲ得

第十一條 軍醫部長ハ軍司令官ニ隸シ駐劄諸部隊ノ衛生業務ヲ監督シ衛生

部士官以下ノ人事及教育並衛生材料ニ係ル事項ヲ統轄ス但シ陸軍省醫務局

長ノ區處ヲ受ク

第十二條 軍獸醫部長ハ軍司令官ニ隸シ駐劄諸部隊ノ軍馬衛生業務ヲ監督シ

獸醫部士官以下ノ人事及教育並獸醫材料踏鐵ニ關スル事項ヲ統轄ス但シ陸

軍省軍務局長ノ區處ヲ受ク

第十三條 各部長ヨリ軍司令官ニ具申スヘキ事項ハ豫メ軍參謀長ニ開陳シ其

ノ承認ヲ受クヘキモノトス

第十四條 軍法官部軍經理部軍醫部及軍獸醫部員ハ當該部長ノ命ヲ受ケ

各自擔任ノ職務ニ服ス

第十五條 下士判任文官ハ上官ノ命ヲ受ケ事務ニ服ス

附則

本令ハ明治三十九年八月十五日ヨリ之ヲ施行ス

省

MT

52232

29

MT

52232

28